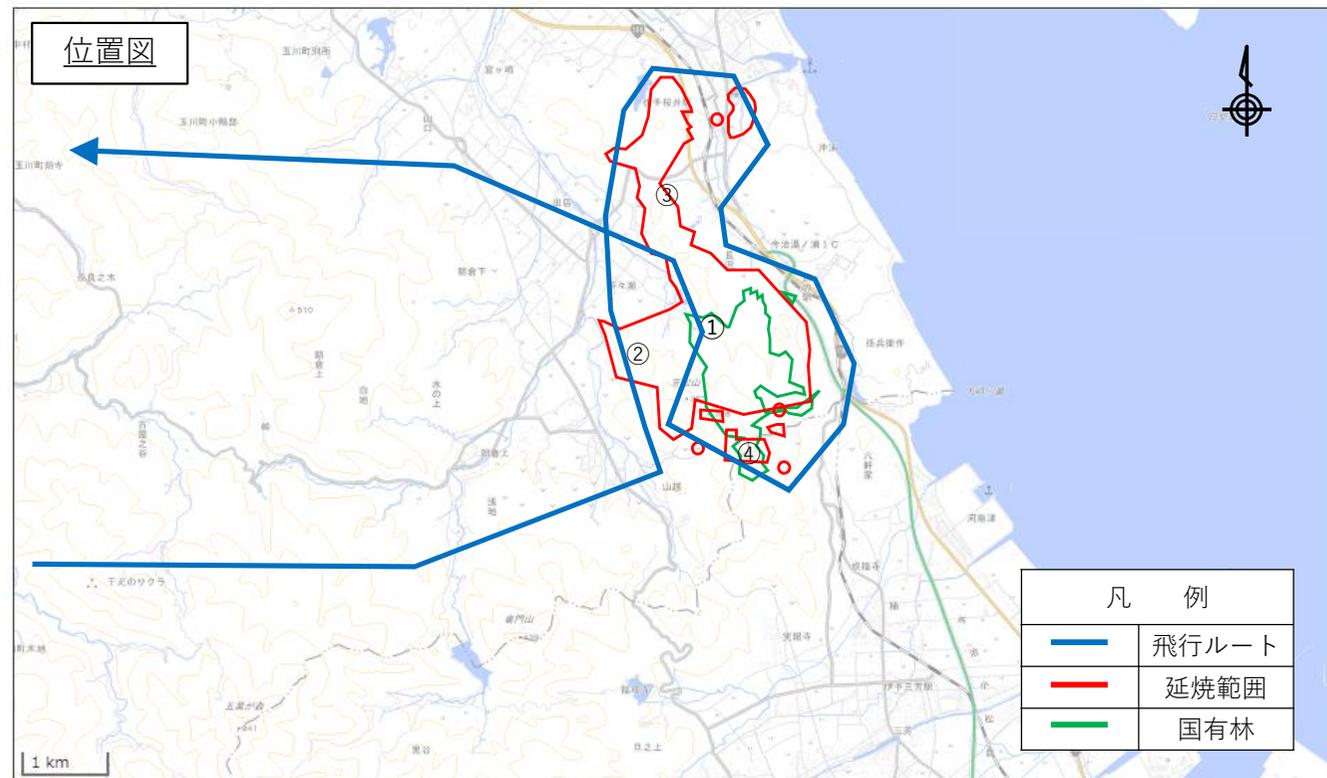


- 1 調査年月日：令和7年4月8日（火）
- 2 調査場所：愛媛県今治市及び西条市の林野火災延焼範囲周辺（位置図参照）
- 3 調査実施機関等：四国森林管理局、愛媛森林管理署、愛媛県、今治市の職員
- 4 調査結果の概要
  - ・樹冠火が発生し、風の影響を受けて一気に駆け上がったと見られる急斜面の焼損が際立ち、黒焦げの地表がむき出しとなった場所が多い。
  - ・谷部には樹木の残存した区域も確認されたが、周囲が茶色く変色していることから林内は地表火の影響を受けているものと推察される。
  - ・今後、再生に向けて、有識者や関係機関に協力いただきながら、被害状況の詳細な調査を行う予定。





① 今治市 医王山国有林1057林班と民有林  
急斜面の焼損が際立ち、樹冠火の発生が伺える。  
風の影響を受けにくい谷部には樹木が残存している。



② 今治市朝倉南地区 民有林  
地表部の延焼は確認できないが、若齢の造林木  
が熱の影響で広範囲に茶色く変色している場所  
が確認された。



③ 今治市長沢地区 民有林  
谷部に樹木の残存が確認されたが、周囲の樹木が  
変色しており、林内は地表火の影響を受けていると推  
察される。



④ 西条市 永納山国有林1060林  
斜面の緩急の違いで焼損度合いに違いが確認さ  
れた。